

***** 佛事の常識・非常識 *****

Q:焼香の回数は喪主に倣うのですか？ A:いいえ。あなた自身の信仰に基づく作法でして下さい。

この度は、某紙で取り上げられていた作法やマナーに関する記事を参考にしました。突然のお通夜や葬儀に参列した時に、何度お焼香すればよいかという問いかけです。記事によると「喪主がお香をくべる回数が故人の宗派の回数になるので、喪主の様子を見て参考にしない」とあります。遅れて参列した場合は、同じく参列している知り合いに尋ね、それもかなわなければ、自身が信仰する宗派の回数で良い」と。こんなふうに書かれていました。喪主が自分と同じ宗派ならいざ知らず、違った場合にはいかがでしょうか？日本人は「空気を読む」のが大好きですが、信仰までも「空気を読む」必要はありません。クリスチャンの知り合いが亡くなったとして、参列したら自分もキリスト教式でやりますか？私はできませんし、お寺に来るクリスチャンもお焼香などせず献花のみしているのをお見掛けします。それが本当だと思います。私も決してお焼香を強制したりしません。お焼香は一見社会的儀礼のように見えますが、仏教徒の立場からすれば、自らが信じる本尊への信仰表明にほかなりません。立派な仏事ですから、相手によってコロコロと態度を変える性質のものではないのです。

***** ハッピープレゼントクイズ *****

クイズに答えて景品をゲットしよう！！

正解者の中から抽選で5名様にお花の苗ポッドをプレゼント。

問:この度、香川県議会が制定を検討し全国的な話題になっている
条例を次の3つの中から選びなさい。

- ① IR カジノ条例 ② うどん条例 ③ (仮称) ネット・ゲーム依存症対策条例



答えの番号と感想と、住所・氏名をハガキか fax で徳成寺まで送って下さい。

fax の受付は、朝8時～夜9時までとさせていただきます。

〒760-0017 高松市番町 2-13-25 宛て 徳成寺ハッピープレゼントクイズの係まで
ふるってご応募下さい。毎月22日締切 当選者の発表は景品の発送に代えさせていただきます。
先月の答え、③カルロス・ゴーン氏でした。レバノンに逃げちゃいましたね。

***** 坊守の月イチブログ *****

雑誌の電話インタビュー

「月刊住職」というお坊さん専門雑誌から電話インタビューされました。

聞かれるがままに正直に答えたら、讃岐弁でしゃべったのがそのまま活字になっていました。他の方の記事を読むとデスマス調で格調高く書かれているのですから、私以外の全国津々浦々の方々はきっとキレイにおしゃべりになったのでしょう。

お若い女性からのお電話で、とても聞き上手だったのと、お電話だから顔も見えないし、と油断していました。後日住職が写真を送ったようで、記事と一緒に顔写真も掲載されていて、こんなことならもっと襟を正してよそ行き感を出してしゃべればよかった、と反省。色々と考えながら、その女性記者は私の拙い喋りを上手に文章にしてくださいました。自分が思っている以上にいい感じに書いて下さっていて

「うちのお寺ってイイとこじゃん！」

と素直に思わせてくれました。万が一また電話インタビューの依頼があったなら、ザーマス口調で攻めてやるっ！なんちゃって。とてもいい記念になりました。

@:かわら版不要の方は恐れ入りますが087-821-6348へご連絡下さい。

徳成寺ホームページ : <http://www.tokujoji.com/>

月刊住職

